

MHAM新興国現地通貨建債券ファンド (ファンドラップ)

追加型投信／海外／債券

受益者の皆さまへ

毎々格別のお引立てに預かり厚くお礼申し上げます。

さて、「MHAM新興国現地通貨建債券ファンド(ファンドラップ)」は、2019年5月8日に第12期の決算を行いました。

当ファンドは、新興国の現地通貨建て国債、政府機関債、国際機関債、社債等に投資を行い、安定した収益の確保と信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行います。

当作成対象期間につきましても、これに沿った運用を行いました。ここに、運用経過等をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

作成対象期間 2018年5月9日～2019年5月8日

第12期	決算日：2019年5月8日	
第12期末 (2019年5月8日)	基準価額	11,846円
	純資産総額	7,314百万円
第12期	騰落率	△4.3%
	分配金合計	0円

(注1) 騰落率は分配金再投資基準価額の騰落率を表示しています。
(注2) △(白三角)はマイナスを意味しています(以下同じ)。

当ファンドは投資信託約款において、運用報告書(全体版)を電磁的方法によりご提供する旨を定めております。運用報告書(全体版)は、下記のホームページにアクセスし、「基準価額一覧」等から当ファンドの名称を選択いただき、ファンドの詳細ページから閲覧、ダウンロードすることができます。また、運用報告書(全体版)は受益者のご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

■運用報告書に関するお問い合わせ先

コールセンター **0120-104-694**

(受付時間：営業日の午前9時から午後5時まで)

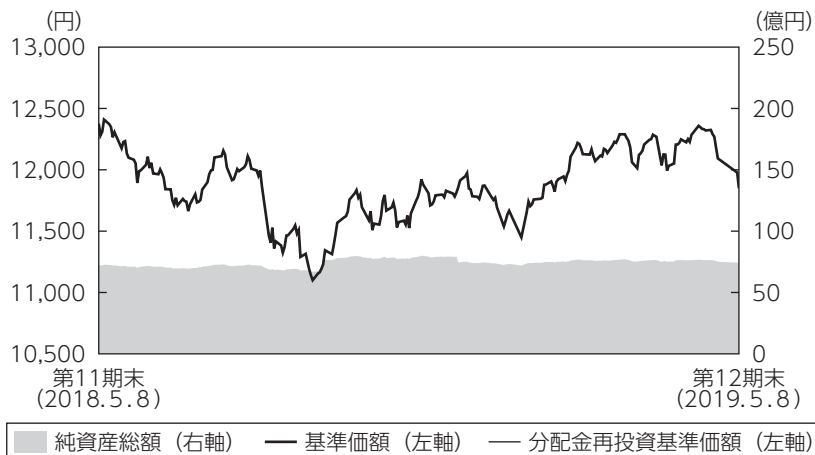
お客さまのお取引内容につきましては、購入された販売会社にお問い合わせください。

アセットマネジメントOne 株式会社

東京都千代田区丸の内1-8-2 <http://www.am-one.co.jp/>

運用経過の説明

基準価額等の推移



第12期首： 12,374円
 第12期末： 11,846円
 (既払分配金0円)
 騰落率： △4.3%
 (分配金再投資ベース)

- 純資産総額 (右軸) — 基準価額 (左軸) — 分配金再投資基準価額 (左軸)
- (注1) 分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものではありません。
- (注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客さまが利用するコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
- (注3) 分配金再投資基準価額は、期首の基準価額に合わせて指数化しています。
- (注4) 当ファンドはベンチマークを定めておりません。

基準価額の主な変動要因

「新興国現地通貨建債券マザーファンド」受益証券への投資を通じて、新興国の現地通貨建て債券などに投資を行った結果、新興国通貨が円に対して下落したことなどから基準価額は下落しました。

1 万口当たりの費用明細

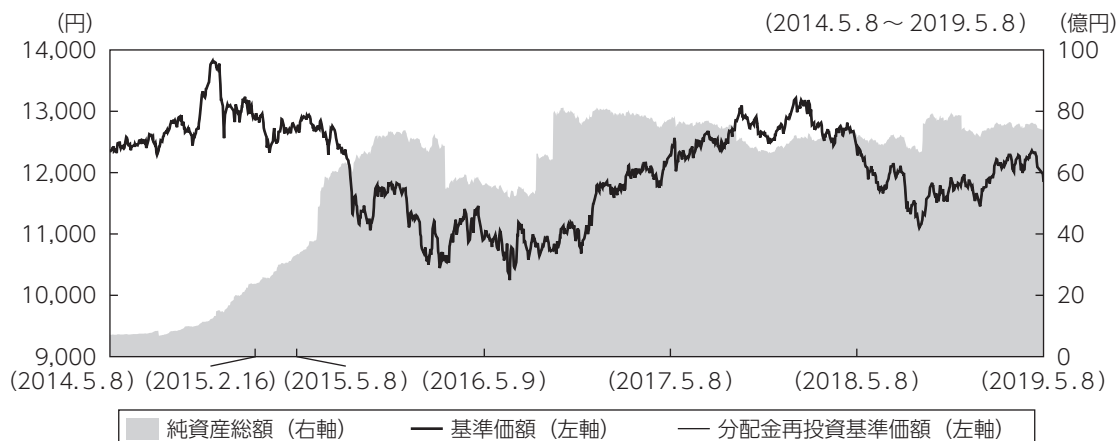
項目	第12期		項目の概要
	(2018年5月9日 ～2019年5月8日)		
	金額	比率	
(a) 信託報酬	113円	0.950%	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は11,861円です。
(投信会社)	(102)	(0.864)	投信会社分は、信託財産の運用、運用報告書等各种書類の作成、基準価額の算出等の対価
(販売会社)	(1)	(0.011)	販売会社分は、購入後の情報提供、交付運用報告書等各种書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価
(受託会社)	(9)	(0.076)	受託会社分は、運用財産の保管・管理、投信会社からの運用指図の実行等の対価
(b) 売買委託手数料	－	－	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、組入有価証券等の売買の際に発生する手数料
(c) 有価証券取引税	－	－	(c) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(d) その他費用	26	0.220	(d) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
(保管費用)	(22)	(0.190)	保管費用は、外国での資産の保管等に要する費用
(監査費用)	(0)	(0.004)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査にかかる費用
(その他)	(3)	(0.027)	その他は、信託事務の処理に要する諸費用
合計	139	1.170	

(注1) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

(注2) 金額欄は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

最近5年間の基準価額等の推移



- (注1) 分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客さまが利用するコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
- (注3) 分配金再投資基準価額は、2014年5月8日の基準価額に合わせて指数化しています。

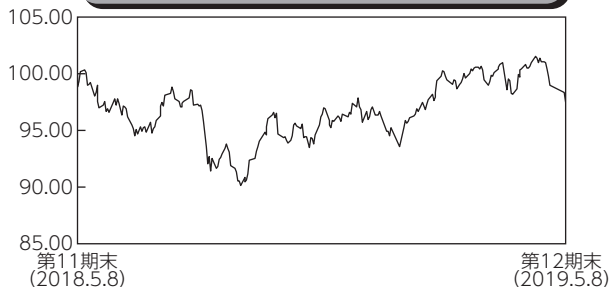
		2015年2月16日 決算日	2015年5月8日 決算日	2016年5月9日 決算日	2017年5月8日 決算日	2018年5月8日 決算日	2019年5月8日 決算日
基準価額 (分配落)	(円)	12,899	12,709	10,917	12,291	12,374	11,846
期間分配金合計 (税引前)	(円)	—	0	0	0	0	0
分配金再投資基準価額の騰落率	(%)	—	△1.5	△14.1	12.6	0.7	△4.3
参考指数の騰落率	(%)	—	△1.0	△14.3	13.3	2.7	△2.5
純資産総額	(百万円)	2,363	3,310	5,591	7,748	7,215	7,314

- (注1) 当ファンドはベンチマークを定めておりません。参考指数はJ PモルガンGB IーEMグローバル・ディバースィファイド (ヘッジなし・円ベース) です。参考指数については後掲の<当ファンドの参考指数について>をご参照ください。参考指数は投資対象資産の相場を説明する代表的な指数として記載しているものです。
- (注2) 参考指数は、基準価額への反映を考慮して前営業日の値を用いています。

投資環境

● 海外債券市況と為替市況

JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバーシファイド
(ハッジなし・円ベース)の推移



(注) 期首を100として指数化しています。

新興国の現地通貨建て債券市場は、債券価格は小幅に下落（利回りは小幅上昇）したものの、高い利息収入などを背景に底堅い結果となりました。米国金利の低下により比較的高い利回りを求める投資家需要が継続した一方で、アルゼンチン、トルコなど固有リスクが意識される場面もあり、債券価格は下落しました。

国別で見ると、アルゼンチンの長期国債がIMF（国際通貨基金）に対してスタンバイ取極（IMFによる融資制度）の前倒し要請を実施したことなどで財政に対する懸念が高まり下落しました。また、トルコの長期国債は、米国との関係悪化や市場寄りの閣僚の更迭など大統領の強権に対する懐疑的な見方が強まったことなどから下落しました。一方、ブラジルの長期国債は新大統領の下、財政改革が進展するとの見方などから上昇（利回り低下）しました。

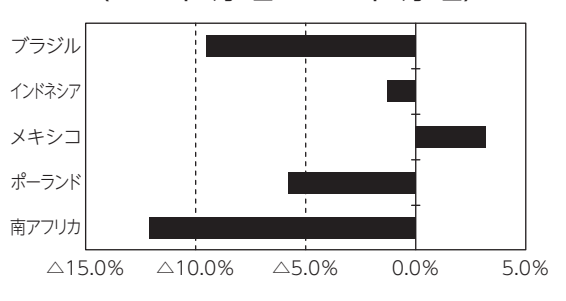
新興国の通貨（対円）はアルゼンチンペソ、トルコリラなど固有リスクが懸念された通貨を中心に下落しました。アルゼンチンペソは、財政に対する懸念に加え、根強いインフレ懸念や大統領選挙に対する不透明感なども下落要因となりました。トルコリラは、債券同様の理由に加え、外貨準備が大きく減少したことも下落要因となりました。

金利の動き（10年債利回り）

	2018年5月7日	2019年5月7日	騰落幅
ブラジル	9.92%	8.86%	△1.06%
インドネシア	7.16%	7.98%	0.82%
メキシコ	7.66%	8.16%	0.50%
ポーランド	3.15%	2.98%	△0.17%
南アフリカ	8.33%	9.19%	0.86%

(注) 2018年5月7日時点の南アフリカの金利は、9年債利回りを表示しております。

為替の騰落率
(2018年5月8日～2019年5月8日)



ポートフォリオについて

●当ファンド

「新興国現地通貨建債券マザーファンド」 受益証券の組入比率を高位に維持しました。

●新興国現地通貨建債券マザーファンド

主として新興国の現地通貨建て債券に投資を行い、安定した収益の確保と信託財産の中長期的な成長を目指しました。

国別配分は、ペルーの組入比率を引き上げました。一方、マレーシアの組入比率を引き下げました。

種別配分は引き続き国債を主体としつつ、新興国企業の社債等も組み入れました。

期末時点の格付け別配分は、BBB格以上を中心とするポートフォリオとし、ファンド全体の修正デューレーションは4年程度としました。

債券の組入比率は高位を維持しました。

上記の通り運用を行った結果、基準価格は3.4%下落しました。主な変動要因は以下の通りです。

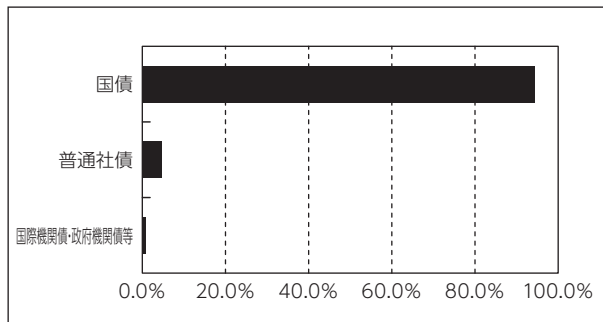
(主な上昇要因)

- ・債券の利息収入
- ・ブラジルなど債券価格の上昇

(主な下落要因)

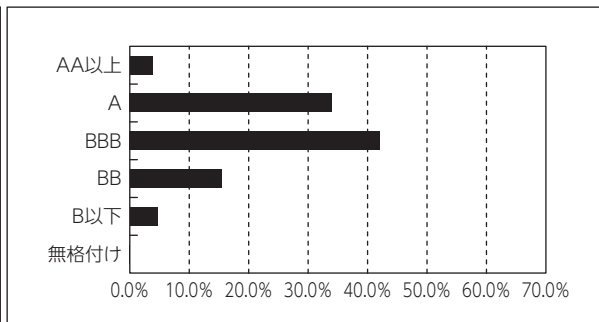
- ・アルゼンチン、トルコの債券価格の下落
- ・トルコリラやアルゼンチンペソを中心とした現地通貨の対円での下落

【種別配分】



【格付け別比率】

2019年5月8日現在

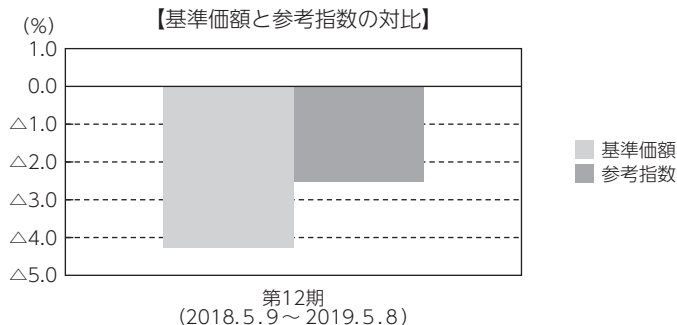


(注1) ファンドウェイトは債券部分を100%換算したものです。

(注2) ファンドの格付けは、S & P、Moody's、フィッチのうち最も高い格付けを採用しています。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数の騰落率の対比です。



(注) 基準価額の騰落率は分配金（税引前）込みです。

分配金

当期の収益分配金は、基準価額の水準や市況動向等を勘案した結果、分配を見送らせていただきました。なお、収益分配に充てなかった収益については、運用の基本方針に基づいて運用を行います。

分配原資の内訳（1万口当たり）

項目	当期
	2018年5月9日 ～2019年5月8日
当期分配金（税引前）	－円
対基準価額比率	－%
当期の収益	－円
当期の収益以外	－円
翌期繰越分配対象額	6,943円

(注1) 「当期の収益」および「当期の収益以外」は、小数点以下切捨てで算出しているためこれらを合計した額と「当期分配金（税引前）」の額が一致しない場合があります。

(注2) 当期分配金の「対基準価額比率」は「当期分配金（税引前）」の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

(注3) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後・繰越欠損補填後の売買益（含、評価益）」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「分配準備積立金」および「収益調整金」から分配に充当した金額です。

今後の運用方針

●当ファンド

「新興国現地通貨建債券マザーファンド」の組入比率を高位に維持します。

●新興国現地通貨建債券マザーファンド

債券市場は短期的には米中間の貿易問題の動きに注目が集まり値動きの荒い場面も想定されますが、新興国のファンダメンタルズは引き続き堅調であり、中長期的に底堅い展開が見込まれます。また、米国の追加利上げの可能性が大きく後退しており、相対的な利回りの高さを背景とした投資需要が継続すると期待されることも市場を下支えすると考えています。ただし、選挙を控えている国もあり、個別国の政治情勢にも留意が必要です。

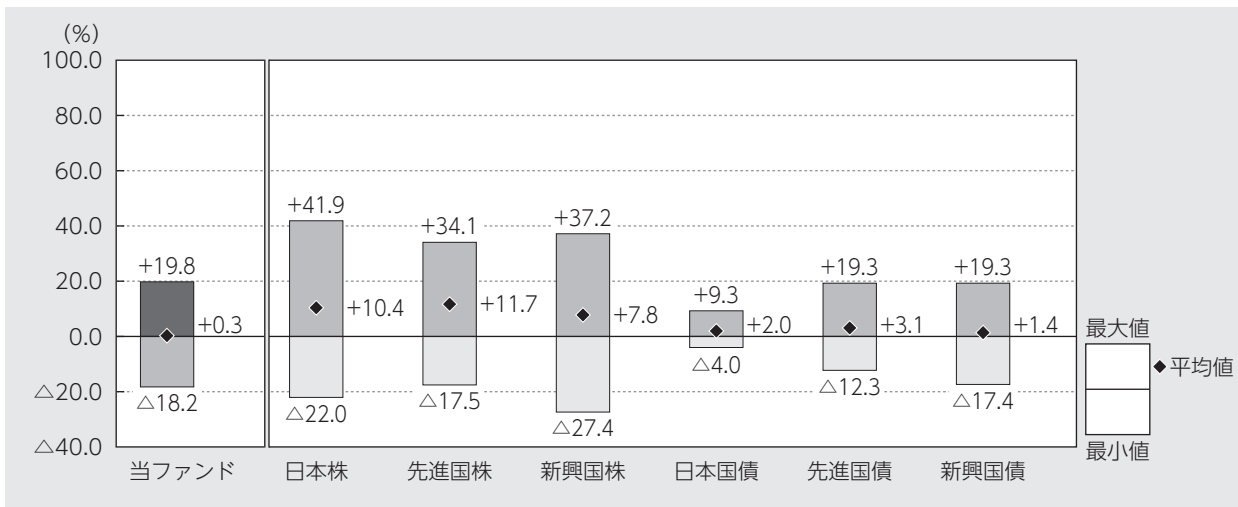
このような中、市場動向や各国内外の政治・経済情勢を注視しつつ運用を行う方針です。

当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／海外／債券	
信託期間	2008年6月3日から無期限です。 なお、クローズド期間はありません。	
運用方針	新興国の現地通貨建て国債、政府機関債、国際機関債、社債等に投資を行い、安定した収益の確保と信託財産の中長期的な成長を目指します。	
主要投資対象	MHAM新興国 現地通貨建 債券ファンド (ファンドラップ)	新興国現地通貨建債券マザーファンド受益証券を主要投資対象とします。
	新興国現地通貨建債券 マザーファンド	新興国の公社債を主要投資対象とします。
運用方法	新興国の現地通貨建て国債、政府機関債、国際機関債、社債等に投資を行います。 外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。 新興国現地通貨建債券マザーファンドにおける円の余資運用以外の運用の指図に関する権限を、ルーミス・セイレス・アンド・カンパニー・エル・ピーに委託します。	
分配方針	毎決算時（原則として毎年5月8日。ただし、休業日の場合は翌営業日）に、原則として経費控除後の繰越分を含めた配当等収益および売買益（評価益を含みます。）等の全額を分配対象額の範囲とし、分配金額は委託会社が基準価額の水準や市況動向等を勘案して決定します。	

当ファンドは、ファミリーファンド方式で運用しています。（ファミリーファンド方式とは、投資者の皆さまからお預かりした資金をまとめてベビーファンドとし、その資金をマザーファンドに投資することにより、その実質的な運用をマザーファンドで行う仕組みです。）

代表的な資産クラスとの騰落率の比較



2014年5月～2019年4月

(注1) 上記のグラフは2014年5月から2019年4月の5年間における1年騰落率（毎月末時点における期間1年間の騰落率を5年（60ヵ月）分取得したデータ）の平均・最大・最小を、当ファンドおよび他の代表的な資産クラスについて表示したものです。（グラフは、ファンドと代表的な資産クラスを定量的に比較できるように作成したものです。）なお、上記騰落率は直近の月末から60ヵ月さかのぼった算出結果であり、決算日に対応した数値とは異なります。

※全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注2) 当ファンドの年間騰落率は、分配金再投資基準価額をもとに計算していますので、基準価額をもとに計算した年間騰落率とは異なる場合があります。

*各資産クラスの指数

日本株……東証株価指数（TOPIX）（配当込み）

先進国株…MSCIコクサイ・インデックス（配当込み、円ベース）

新興国株…MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）

日本国債…NOMURA-BPI国債

先進国債…FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ベース）

新興国債…JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバーシファイド（円ベース）

（注）海外の指数は為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

※各指数については後掲の「代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について」をご参照ください。

当ファンドのデータ

当ファンドの組入資産の内容（2019年5月8日現在）

◆組入ファンド等

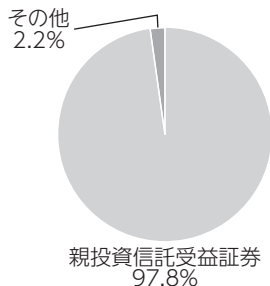
（組入ファンド数：1ファンド）

	当期末
	2019年5月8日
新興国現地通貨建債券マザーファンド	97.8%

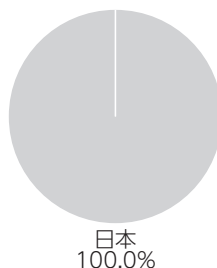
（注1）比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

（注2）詳細な情報につきましては、運用報告書（全体版）に記載されています。

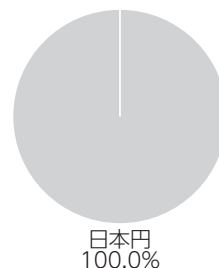
◆資産別配分



◆国別配分



◆通貨別配分



（注1）比率は純資産総額に対する評価額の割合です。なお、国別配分についてはポートフォリオの合計（除く現金）に対する割合です。

（注2）その他は100%と配分比率の合計との差になります。

純資産等

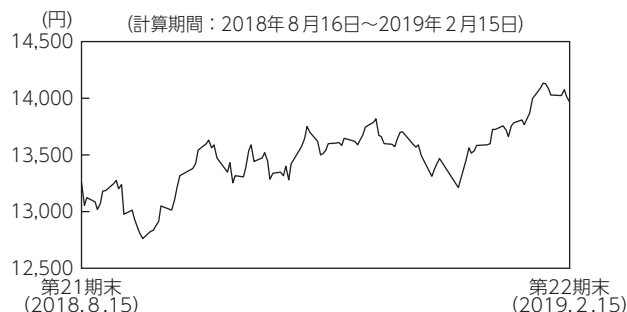
項目	当期末
	2019年5月8日
純資産総額	7,314,558,041円
受益権総口数	6,174,957,783口
1万口当たり基準価額	11,846円

（注）当期中における追加設定元本額は1,572,184,969円、同解約元本額は1,228,058,511円です。

組入ファンドの概要

[新興国現地通貨建債券マザーファンド] (計算期間 2018年8月16日～2019年2月15日)

◆基準価額の推移



◆1万口当たりの費用明細

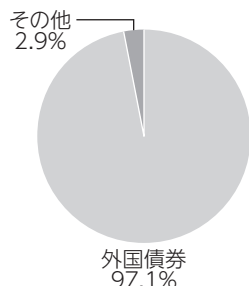
項目	(2018年8月16日～2019年2月15日)	
	金額(円)	比率(%)
平均基準価額	13,499	—
(a) その他費用 (保管費用)	16	0.119
(その他)	(3)	(0.095)
合計	16	0.119

◆組入上位銘柄

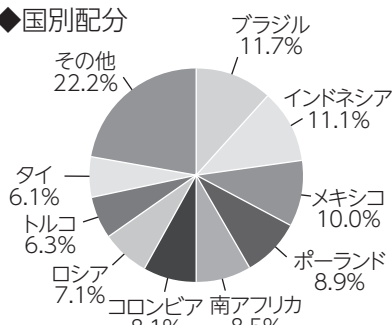
(組入銘柄数：64銘柄)

順位	銘柄	種別	通貨	利率	償還日	比率
1	RUSSIA	国債	ロシアルーブル	8.1500%	2027/02/03	4.7%
2	BRAZIL	国債	ブラジルレアル	10.0000%	2021/01/01	4.4%
3	SOUTH AFRICA	国債	南アフリカランド	7.0000%	2031/02/28	4.1%
4	INDONESIA	国債	インドネシアルピア	8.3750%	2024/03/15	3.7%
5	POLAND	国債	ポーランドズロチ	4.0000%	2023/10/25	3.7%
6	BRAZIL	国債	ブラジルレアル	10.0000%	2025/01/01	3.4%
7	THAILAND	国債	タイバーツ	3.6250%	2023/06/16	3.3%
8	MEXICO	国債	メキシコペソ	5.7500%	2026/03/05	3.2%
9	BRAZIL	国債	ブラジルレアル	10.0000%	2023/01/01	3.0%
10	HUNGARY	国債	ハンガリーフォリント	7.0000%	2022/06/24	3.0%

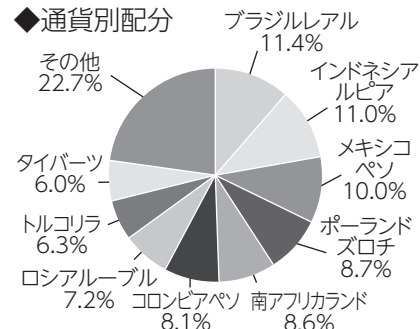
◆資産別配分



◆国別配分



◆通貨別配分



(注1) 組入上位銘柄、資産別・国別・通貨別配分は当マザーファンドの直近の計算期間末のものです。

(注2) 1万口当たりの費用明細は当マザーファンドの直近の決算期のものです。費用の項目の概要については2頁をご参照ください。

(注3) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。なお、国別配分についてはポートフォリオの合計(除く現金)に対する割合です。

(注4) その他は100%と配分比率の合計との差になります。

(注5) 計算期間中の運用経過や組入全銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載されています。

<当ファンドの参考指数について>

● J P モルガン G B I - E M グローバル・ディバーシファイド（ヘッジなし・円ベース）

「J P モルガン G B I - E M グローバル・ディバーシファイド」は、J. P. モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーが公表している新興国の現地通貨建ての国債で構成されている時価総額加重平均指数です。同指数に関する著作権等の知的財産その他一切の権利はJ. P. モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーに帰属します。

<代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について>

●「東証株価指数（TOPIX）」は、東京証券取引所第一部に上場されているすべての株式の時価総額を指数化したものです。同指数は、株式会社東京証券取引所（㈱東京証券取引所）の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用など同指数に関するすべての権利は、(株)東京証券取引所が有しています。

●「MSCI コクサイ・インデックス」は、MSCI Inc. が開発した株価指数で、日本を除く世界の主要先進国の株価指数を、各国の株式時価総額をベースに合成したものです。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCI Inc. に帰属します。また、MSCI Inc. は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。

●「MSCI エマージング・マーケット・インデックス」は、MSCI Inc. が開発した株価指数で、新興国の株価指数を、各国の株式時価総額をベースに合成したものです。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCI Inc. に帰属します。また、MSCI Inc. は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。

●「NOMURA-BPI 国債」は、野村證券株式会社が国内で発行された公募利付国債の市場全体の動向を表すために開発した投資収益指数です。同指数の知的財産権その他一切の権利は野村證券株式会社に帰属します。なお、野村證券株式会社は、同指数の正確性、完全性、信頼性、有用性を保証するものではなく、ファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。

●「FTSE 世界国債インデックス（除く日本）」は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。同指数はFTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。

●「J P モルガン G B I - E M グローバル・ディバーシファイド」は、J. P. モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーが公表している新興国の現地通貨建ての国債で構成されている時価総額加重平均指数です。同指数に関する著作権等の知的財産その他一切の権利はJ. P. モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーに帰属します。また、同社は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。

(このページは白紙です)

(このページは白紙です)

